令和７年１月備前市教育委員会定例会会議録

１　開催日時　　令和７年１月30日（木）
　　開会　午前10時00 分　　閉会　午前11時00分

２　開催場所　　備前市役所６階　委員会室

３　会議区分　　定例会

４　出席委員

議席番号	職　　名	氏　　名	出欠
1	委　　員	出　井　鉄　二	出
2	委　　員	田　中　道　生	出
3	委　　員	金　谷　美　圭	出
4	委　　員	原　田　千　暁	出

５　出席者

職　　名	氏　　名	出欠
教育長	今　脇　誠　司	出
総合教育部長	畑　下　昌　代	出
教育総務課長	杉　田　和　也	出
教育政策課長 幼小中高一体校準備室長	春　森　弘　晃	出
小中一貫教育課長	谷　口　健　一	出
幼児教育課長	文　田　栄　美	出

６　付議事件　　議案等付議事項のとおり

７　会議状況　　議事録のとおり　　傍聴人　なし　　非公開　なし

８　署名委員　　３番　　金　谷　美　圭

９　書　　記　　教育総務課課長補佐　川﨑　誠

議　案　等　付　議　事　項

区　分	案　　件　　名
議案第　1 号	備前市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
報告第　1 号	令和7年度全国学力･学習状況調査及び令和7年度岡山県学力･学習状況調査への参加について
報告第　2 号	令和6年度全国体力･運動能力、運動習慣等調査結果の概要について
報告第　3 号	人口減少について

今脇教育長　皆さん、おはようございます。新年最初の教育委員会会議になります。改めましてあけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。それでは委員の皆様には令和７年１月教育委員会会議定例会にご出席いただきまして、ありがとうございます。それでは定例会を開会いたします。只今の委員の出席は私を含めまして５名全員でございます。定足数に達しておりますので、令和７年１月備前市教育委員会会議定例会を開会いたします。

委員並びに出席職員に申し上げます。教育委員会会議の議事等会議は、人事、争訟のほか、市議会の議決を経るべき事項の原案、個人・団体情報を公開することにより個人の権利利害を害するおそれのある事項、例示いたしますと、問題行動や児童生徒指導上の案件などにあっては、委員会の議決をもって、非公開といたします。非公開審議の事例は、かなり繁雑にありますので、あらかじめご承知おき願います。委員会会議規則及び委員会申し合わせにより、議事内容や発言内容に関する指摘は、あらかじめ分かる場合は、教育長から発議し、そうでない場合は、発言途中であっても、委員並びに出席職員からの発言を認めますので、教育長にその旨を告げていただき、私から発議するなど所要の手続を行いたいと思います。以上、よろしくお願い申し上げます。

次に政務報告をいたします。それでは、議事に先立ちまして、前回定例教育委員会会議以降の教育政務について報告をいたします。

１月８日、新年にあたり園長会に出席いたしました。

１月９日、１月定例校長会に出席いたしました。

１月10日、伊部東区長会懇談会に出席いたしました。

１月11日、備前市文学賞表彰式に出席し、ご挨拶と賞状を授与いたしました。

１月12日、備前市二十歳の集いに出席し、式典にて記念品を贈呈いたしました。

１月14日、新年にあたり岡山県教育長にごあいさつを申し上げ、また新年度に向けた協議を行いました。

１月17日、みずほ銀行との連携協定に出席いたしました。また、市長と吉永中学校にてＡＬＴによるＩＢ教育の英語の授業を参観いたしました。 また、同日地域おこし協力隊の報告会に出席いたしました。

１月18日、論語かるた大会に出席し、祝辞と選手の皆さんの熱い戦いを観戦してまいりました。

１月21日、株式会社アチーブゴールとの包括連携協定の締結式に出席し、こども園及び小中学校における英語教育の推進に寄与することを目的とした協定を締結いたしました。また、同日片上地区意見交換会に出席してまいりました。

１月23日、東鶴山地区意見交換会に出席してまいりました。

１月25日、高知県香美市立香北中学校において、ＩＢ教育の成果発表会に出席し、公開授業を参観するなど、ＩＢ教育について視察してまいりました。

１月26日、香登認定こども園移転に関する検討会議があり、香登地区の学校評議員の方々をはじめ、代表の方々との協議を行いました。

1月28日、今年１月17日に包括連携協定を締結した、みずほ銀行による伊部小学校５年生を対象とした金融教育の授業参観をしてまいりました。

また、この間にも、個々に、各こども園、小中学校や関係施設を訪れ、学校長や学園関係者との協議、施設の状況の確認等を行ってまいりました。以上で、教育政務の報告を終わります。

それでは、早速、議事に入ります。

まず、１番　前回定例会会議録の承認について、令和６年12月定例会の会議録について、委員の皆さん、何かお気付きの点はございませんでしょうか。

教育委員　（異議等なし）

今脇教育長　ないようですので、令和６年12月定例会の会議録については、承認することといたします。

次に２番　署名委員の決定ですが、今回は３番の金谷委員にお願いいたします。

引き続き、３番　議案等付議事項について審議を行います。議案第１号、備前市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について、事務局から説明願います。

小中一貫教育課長　備前市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について、議案としてあげさせていただいております。提案理由といたしましては、1ページ下のあたりに書かせていただいておりますとおり、学校運営協議会委員の年額報酬を1万円と定めたいということで、このたび条例の一部改正の必要が出てきました。これによって規定により教育委員の意見を求めるものです。ご協議よろしくお願いします。以上です。

今脇教育長　議案第１号の説明が終わりました。何かご質問ございませんでしょうか。

教育委員　（質問等なし）

今脇教育長　よろしいですか。それでは無いようですので議案第１号は承認してよろしいでしょうか。

教育委員　（異議なし）

今脇教育長　異議が無いようですので議案第１号は承認することといたします。以上で議案第１号の審議を終わります。

今脇教育長　次に報告第１号、令和7年度全国学力・学習状況調査及び令和7年度岡山県学力・学習状況調査への参加について事務局から説明願います。

小中一貫教育課長　４ページから６ページにかけてご覧ください。令和7年度も全国学力・学習状況調査及び令和7年度岡山県学力・学習状況調査が実施されます。４ページから６ページには全国学力・学習状況調査の概要をまとめております。調査期日は令和7年4月17日です。令和6年度調査と令和7年度調査の違いの主なものは、教科に関する調査で三年に一度実施される理科が追加されるということになります。また、小学校の国語、算数、理科、中学校の国語、数学はこれまでどおり冊子を用いた筆記方式（PBT）で実施いたしますが、中学校の理科においては、生徒が活用しているICT端末を用いたCBTシステムによるオンライン方式で実施することになっている点が今までと変わっているところです。7ページから8ページにかけましては、岡山県学力・学習状況調査の概要をまとめております。実施日につきましては全国調査と同日であります令和7年4月17日となっています。こちらにつきましては大きな変更点はありません。どちらの調査についても結果をもとに、教育委員会は今後の学校の指導施策の方に生かし、学校は今後の学習指導の資料として活用、充実を図る対応をしてまいりたいと思います。以上になります。

今脇教育長　委員の皆さんで何かご質問ございませんでしょうか。

教育委員　失礼します。学力状況調査については、昨年の総合教育会議でも平均値が低いということが話題になったと思います。今回も受ける方向ということだと思うので、その６年度の反省を生かして、今後７年度に生かしていける方向性というか狙いを、教育委員会として、また学校と協力してという辺を、もうすでにその方針が決まっていれば教えていただきたいと思います。以上です。

小中一貫教育課長　はい。令和６年度調査の結果の分析というものは、夏休み中に各学校で終えて、２学期からの取り組みに生かせるというところで現在も取り組んでいるところです。教育委員会といたしましては、各学校で、この調査が調査だけで終わらない、次に活かせるようなサイクルを回していくというところ、そこに主に力を入れて関わっているところです。例えば、授業改善で、調査結果から見てなかなか子どもたちが苦手と感じているようなところを授業の中でどのように改善が図られているかといったものを、授業参観を通して指導に関わるとか、それから、合わせてその授業を見させていただいたあと、こういう教材研究の切り口で見ていく必要があるのではないかといったような事前の準備、それから授業後には子どもたちの振り返りから、この授業が一体どうだったのかなという指導と評価の一体化、そういったものが図れるような関わりをしております。また、県の学力状況定着テストといったものがございます。そういったものも活用して、これがオンラインを使ったようなものになるのですが、そういったものも活用しながら、今年度の学びが積み残されないように、しっかりと今年度中に

理解をしてから次の学年に上がれるようにというところで、１月の校長会でも、学びのサイクル、各校のサイクルを確実に回していくというところの徹底を指示したところでございます。また、２月の校長会でもその辺り徹底を図ってまいりたいなというふうに考えておるところです。以上です。

今脇教育長　はい、よろしいですか。

教育委員　校長会との連携もできて、狙い、方針の方も決まっているように今把握させていただきました。しかし、その総合教育会議では、このように何年も繰り返しＰＤＣＡサイクルで検討されているとは思うのですが、なかなかその結果として現れないというところが協議になったと思います。令和６年度でしたけれど成果が上がらなかった。だからプラスアルファとか、改善するところとかに重きをおいて、学校現場と教育委員会等が模索されて、市にしっかりこういう方針で行っているという説明をしていただければいいかなと思うのです。私自身は、点数うんぬんではなくて、将来を見据えてこれになりたいとか、こうしていきたいとか、僕は勉強を頑張る、この英語を頑張る、数学を取ってこういう方向に進みたいとか、夢や希望に向かって頑張るとか挑戦する、くじけても再度取り組むとか、そういうところを教育の中で育てていただいて、そこに点数がある、 点数が上がっていくというふうな子供たちに育ってほしいなと思います。とりあえず目に見えて平均点が上がらないというところは、意欲とかそういうところがもう少し育っていったらいいのかなというふうにも思います。資質と能力等をもう少し具体的に、子供たちの実態から実績の方にというふうに育てていただきたいなという希望を持っていますので、よろしくお願いします。

今脇教育長　他にございませんでしょうか。よろしいですか。12月の 総合教育会議で幼小一貫教育、小中一貫教育、幼小中一貫教育及び中高一貫教育の推進についてというタイトルの中で、ほとんどこの学力調査結果の調査結果についての話が大半を占めたわけですけど、その中で出た意見も含めていただいて、委員が言われたところも踏まえてですね、対応していただきたいと思いますので、また校長会のところで、この総合教育会議と今日の会議の意見をまたお伝えいただけたらと思います。

それでは、他になければ報告第２号、令和６年度全国体力運動能力、運動習慣と調査結果の概要について、事務局から説明願います。

はい。小中一貫教育課長。

小中一貫教育課長　それでは、令和６年度全国体力運動能力、運動習慣等調査の結果についての概要を報告いたします。 10ページからになります。ご覧ください。この調査は、国の悉皆調査で、小学校５年生と中学校２年生が対象となっております。２番の両括弧１、体力合計点は、小学校５年生において男女ともに、中学校２年生においては男子で全国平均を上回っており、中学校２年生の女子は下回っております。11ページをご覧ください。各種目の平均値では、小学校では、男女ともに上体起こし、反復横跳び、20メートルシャトルラン、50メートル走、立ち幅跳び、ソフトボール投げで全国平均を上回り、長座体前屈で全国平均値を下回っていまし

た。また、女子については握力についても下回っていました。握力は、男子が上回っており女子が下回っています。中学校では、男子の方で握力、上体起こし、反復横とび、 50メートル走、立ち幅跳び、ボール投げで全国平均値を上回っており、長座体前屈、20メートルシャトルランで全国平均値を下回っていました。女子では、 今回、全ての種目において全国平均値を下回っていました。12ページをご覧ください。児童生徒質問紙調査にある、 体育の授業以外の運動やスポーツの時間について結果をまとめた表です。ご覧の通り、 小学校では、男女ともに平日の運動時間の時間数の平均値が全国平均値を上回っていました。週末においては、 小学校、男女ともに全国平均を下回っておるということになっております。中学校では、 男女ともに、平日及び休日の運動時間数の平均値が全国平均値を下回っていました。この調査項目から、運動習慣の定着というものが課題となっているというふうに捉えています。

今後ですが、学校とともに本調査内容を共有し、 各校の課題改善に向けて、体育の授業改善を進めるとともに、スポーツ行事のあり方等の見直し、学校と家庭との連携のもと、望ましい運動習慣作りの定着といったものを図ってまいれたらというふうに考えております。以上です。

今脇教育長　この結果につきまして、委員の皆さん、何かご質問ございませんでしょうか。

教育委員　ボール投げのところで小学５年生で23メートル、中学２年生が20メートルの理由があるのでしょうか。普通は逆だと思うけど、他のところは当然、中学生が上だけど。

小中一貫教育課長　ありがとうございます。小学校はソフトボールを使います。で、中学校ではハンドボールを使います。

教育委員　そういうことですね。わかりました。

今脇教育長　はい。他にございませんでしょうか。

教育委員　これ、年々体力って平均値より上がったり下がったり、傾向はどういうふうな感じでしょうか。

小中一貫教育課長　はい。昨年と比べますと、中学校の２年生の女子以外 については改善傾向にあるかなというふうに思います。今年の中学の女子についてはちょっと先ほど申し上げた通り、全国平均値をどの種目も下回っているという結果が出ております。

教育委員　改善しているということは、色々な取り組み、学校の取り組みで運動能力も上がっているのかなと思います。中学校２年生っていうと、このクラスカラーとか色々ね。その年代にも色々ありますけれど、 日頃の取り組みが成果にはなっているというふうに理解していいんでしょうか。

小中一貫教育課長　はい、そういう部分も 出てきているかなとは思っております。一例で申し上げますと、小学校でよく休み時間も 全校集会で、この体育的なスポーツ行事の数というのが以前に比べて増えてきているのかなというようなところもあります。それで、県の方で チャレンジランキング、みんなでチャレンジランキングという取り組みがございます。これ、同じ種目、同じルールで県内の他の小中学校と記録を競うっていうのを、こう インターネットとかで結果が随時出ていって、こう比べて、それを励みに各クラスや学校で取り組むというようなも

のなのですが、そういったようなことが 体育の授業以外のところでも行っている学校が増えてきているかなというふうに思っております。
これによって、運動習慣に繋げていけたらなというところで、学校での仲間作りにもこれは寄与しておるところでございまして、 我々の子供の時代のように外で遊ぶ子供の姿が見られたらまた変わってくるのかなというようなことを思いながら見ておるところです。以上です。
教育委員　チャレンジランキングは、全校、市内の学校が全校取り組んでいるのかどうかということと、さらにそれを生かして今年度はしていないところは取り組もうとかいうのが方向性。でも年度が変わってないから、方向性に検討するのかどうか、教育委員会として、推奨していくのかどうかという点と、地域の学校に出入りすることが、ボランティアとして行っていることもあって、その行間みたいな時とか、その授業の合間の休みに、先生も一緒に出て、しっかり体を動かして遊んでいる様子が見えているので、そういう合間合間の時間を広い運動場を使って体を動かすというところはいいことかなと思って見させていただいています。以上です。
今脇教育長　他にございませんでしょうか。
教育委員　この表を見て一目瞭然なのですけど中学校の女子ですよね。２年生、もうすごく数字が落ちてますよね。なにか原因があるのですか。年頃というのもあるのでしょけど。
小中一貫教育課長　はい。学年のカラーと言いますか、その年の子供の実態というところも大きいのかなと思います。一方で、この調査の中で分析を進めている中で、これは一つの要因かなと思われるのが、やはりメディアと関わる時間と、運動習慣の取り組む時間といいますか、そこのところには課題が見られました。なので、家に帰ってからの家庭生活の中でのことというのが課題の一つに挙げられるのかなというふうには見ています。小中一貫の取り組みの中でも、メディアコントロールといったような取り組みが、もう小中一緒の時期に行うというのを中学校区で行ったりしております。そういったものも合わせながら、読書に繋げるとか運動習慣に繋げるとかというような、生活の時間の見直しをさらに図っていけたらなと思っておるところです。
今脇教育長　他にございませんでしょうか。よろしいですか。私の方からも、この例えば中学女子の、岡山県と全国を見ると、種目にもよりますけど、岡山県の方が高い傾向にあるのかなという中で、備前市が低いわけですが、学力も、先ほどの話がありましたけど、運動能力というか体力的なものということになると、なかなか、どうなのかなというところございますので、体育系の先生方が協議してですね、 課題としてどう７年度から向き合うか、ちょっと協議してもらえるよう、校長会等を通じてですね、お願いした方がいいのかなという感じがします。はい、他になければ。
　次に、報告第３号、人口減少について、タイトル的にずっとこれは人口減少になっているのですけれども、事務局の方から説明を。
幼児教育課長　それでは、人口減少について、本日は幼児教育課の方から、令和７年度入園申し込み状況についてご報告いたします。 今お手元にお配りしました資料をご覧ください。令和

７年度のこども園等の入園につきましては、１次募集を11月７日から11月29日、２次募集を12月２日から１月24日まで行いました。先週金曜日の24日に締め切ったところでございますが、現在の速報といたしまして申し込み状況を配布いたしております。申請者数の合計は、１号認定、２，３号認定合計して588人です。入園決定数は588人となっておりますが、今後、保育教諭の配置等によりまして、必要があれば調整を行う予定でございます。おおむね保護者の第１希望の入園が可能となっておりますが、西鶴山認定こども園の０、１歳児については、施設のスペースの問題で２名が第２希望への入園となる予定になっています。ちなみに、令和６年度は655人の申請に対しまして651人の入園決定、４名については一定の園を希望しているということで保留となっております。以上でご報告を終わります。

今脇教育長　はい、委員の皆さんで何かご質問ございませんでしょうか。

教育委員　これ保育園の希望ですよね、入園希望以外で新生児の方の人数とか把握できるのですかね。赤ちゃんベースからどうなのですかね。

幼児教育課長　はい。ちょっと、今手元には出生数とかいうものは持っておりませんけれども、学年でいきますので、４月１日の人口統計ができましたら、何パーセントの入園率か、そういったような数値は出せると思っています。ちょっと本日は用意しておりませんので、すみません。

今脇教育長　他にございませんでしょうか。他になければ、香登認定こども園についてちょっと簡単に説明だけお願いします。

幼児教育課長　すみません。その他のところで説明しようと思っていたのですけれども、香登認定こども園につきまして、９月26日の教育委員会議で報告いたしました以降の進捗状況についてご報告させていただきます。資料はございませんので、よろしくお願いします。９月にご報告した通り、10月31日に香登小学校、それから11月１日に香登認定こども園で説明会を開催いたしました。説明会では、現在のこども園の場所での検討もできないのか、というようなご意見をいただきましたので、現在のこども園の場所と、それから旧香登幼稚園の場所を加えまして、12月７日に香登小学校体育館で地区への説明会を開催いたしました。69名の地域の方のご参加をいただいております。この説明会では、議事録を公開することと、それから関係者による審議会などを設置して協議することが確認されました。これを受けまして、議事録につきましては、12月７日の議事録です、香登地区協議会へ会長を通じて配布いたしております。また、会議体として、こども園、小学校の学校評議員や民生委員、こども園の保護者会会長、それから小学校のＰＴＡ会長、また幼児クラブの会長と、それから香登協議会の会長、大内地区会の代表者によります検討会議を１月26日に市役所で開催いたしました。この検討会議では、地区の説明会と同様の説明を行い、情報共有、顔合わせという形で行っております。今後は、年度内にもう一度開催できればと思っております。引き続き、検討会の方で意見交換、意見をいただきたいなと思っております。香登認定こども園についての進捗状況は以上です。

今脇教育長　はい、ありがとうございました。このことについて、何かご質問ございませんでしょうか。

教育委員　経緯は詳しくわかりました。しかし、そのもう少し地域の方が何を望んでいらっしゃるのか、 移転なのか、このままでいいのか、何を要望されているかっていう点の説明を聞かせていただけますか。

幼児教育課長　12月７日の地区の説明会におきましては、やはりこれまでの経緯についてのご心配とか、懸念されていることとか、そういった意見が多く、どうしたいのかというような、話はまとまったふうには思えませんでした。今の所でできないのか、というようなご意見も繰り返しありました。ただ、検討会議におきましては、その説明会、12月の説明会に参加されていない方が多かったので、同じ説明をさせていただいて、情報共有というところでとどまっているのかなというふうに思っております。地域の方が実際どういうふうに思われているのかっていうあたりは、今後の検討会議の中でもう少し意見の交換が必要なのかなというふうに感じています。以上です。

今脇教育長　よろしいですか。

教育委員　見えるようで見えないのですけれど、そのあやふやなところ、時期まだなのかなと理解すればいいのかなと思ったりもします。市としては、その進めたい、地域の意見を一番に重視して進めるのか、それとも意見も聞くけれど移転の方向に行くのか、その辺はまだまだ地域の方との交換をしないとまだまだですかね。なぜ聞いているかというと、もう子供も減ってきています。実際に園児も減ってきます。大内も数名で分園として可能なのかなという、集団、０，１，２歳なので、集団というところの教育ではないかもしれません。個々の養護というところかもしれませんが、一応こども園も集団というところで教育するという意味もあるので、その辺、その分園に、今年度分園ですけれど、香登と一緒になっても十分保育できるかなと思うのですが、施設の環境として、０歳児を受け入れられない施設というふうなことも鑑みて進められていることもあると思うのですけれど、その辺、園児が減っています、新しく新築しますとか、市としてはどういう方向性を持っていらっしゃるのかなと思います。よろしいでしょうか。

幼児教育課長　委員もよくご存じの通り、幼児教育課の方では、やはり子供たちを どのように園でお預かりするか、教育していくかっていうところが一番大切にしなければいけないところかなと思っております。ただ、施設については、施設の設置者は市長となっておりまして、やはり園だけのことではなくて、香登地区のまちづくりというような視点も持たれているというふうに受け止めています。なので、やはり地域の方への思いというものもございますので、やはりこういった検討会などを通じて、ご意見を少しでも取り入れられたらいいのかなというふうに思っておりますので、継続してそういった会議体を進めていけたらなと思っています。

教育委員　なかなか難しいところ返答いただいてありがとうございます。子供のことも大事。しかし、地域を大切にされている地域の方のことも大切って、でも大切大切と言っていたら進

まないなと。どこで意見を、その折り合いをつけるというところの、いつかは目処がつかなくてはいけないとは思うのですけれど。以前も、その総合的な施設を建てたらいいのではないかというふうな、この教育委員会会議であったと思うのですけれど、なにか色々のそのアイデアは出るけれど、 なかなかその焦点を絞ってその方向性に行かないっていうのが現実かなと。色々単発的に、地域地域で小学校の統廃合とか子供園の移転とかが単発的に起きているようで、新聞紙上も色々統廃合のことは近隣市町村で、いろいろ新聞紙上では目にします。だから、検討委員会等を作ったり、それからまたやり直したりとかで、近隣市町村も悩みながら進められているのだなと思って見ていますけれど、備前市もそのうちの1つだなと思います。なので、今のところしっかり地域の方の意見を聞いて進めていってくだされば ありがたいかなと思います。以上です。

今脇教育長　私もこの日の挨拶に出ているのですが、小学校が昭和51年建てで、プールは41年だったかで、 元の幼稚園のところが50年建てで、今の認定こども園のところが54年建ていうとこで、大内もそのくらいだと思います。建物が古い中で、今言われるように、子どもの数は、この先は減っていくというのがありますので、本当に意見を聞くと皆様々です。立場が違えばまた様々ですので、それが近隣の市町村の実態でもあるように、なかなか計画立てても、一旦地元におろすと、反対があるからまた練り直しで止まったり、みたいなことがありますけど、おそらく全員の合意を取っていく、要するに、反対者ゼロでいくのは どんな事業でもそうでしょうけれど、特にこういうことについては地元の思いがありますし、保護者の思いとのバランスもあるでしょうから、難しいというとこがありますので。スタートが予算取りのところから入ったのですけど、そういうところでのギクシャクしたところもございますので、これから審議会のような形でということで、検討会を設置したところでございますので、今年度中にはもう1回開けたらというところで、落としどころですね、皆さんと膝と膝を交えて 準備していかなければいけないのかな、というふうに感じました。委員さんの中にはですね、色々連絡があったりとかというようなことで、来られなかった様子もあるようですので、そういうこともないように、ちゃんと全員が普通に同じ土俵に立ってきて、そこを起点にして議論できるようにしていく必要があるのかなというふうに会議に出席して感じました。今後、引き続き、この会議の中でいろいろな話を揉んでいきながら、また方向性を決めていく必要があるのかなというふうに感じました。

　他にございませんでしょうか。なければ、引き続いて議事の４番目、次回の教育委員会議の決定について、事務局案を説明願います。

教育総務課長　はい、では、令和７年２月17日月曜日の午前10時、こちらの場所でご提案させていただきます。

今脇教育長　今日、 関係する条例、条例、規則関係があがっていましたが、予算案もこの場で、７年度の教育委員会の予算案の審議がありますので、２月の19日が２月定例会の開会日になっておりまして、12日が議案発送という形になっていますので、その前に開く必要があるのかな

というふうに思います。それでいきますと、２月10日にしないといけないのかなと思います。この日は厚生文教委員会があるので、３時以降で調整して連絡させてもらえますか。また、日程調整の連絡に際してはご協力いただけたらということになります。

次に、５番、２月の行事予定及び共催・後援予定について事務局から説明を。

川崎教育総務課長補佐　２月の行事予定と共催・後援予定について説明いたします。

２月の行事予定ですが、以前お配りした青少年育成カレンダーを基に説明いたしますけど、２月は参観日とか生活発表会がそれぞれの学校園で予定されております。 それからあと、２月の11日の建国記念日に備前市のえびす駅伝大会が開催されますので、そちらについて教育委員会として共催をしております。それから、２月17日に、これはまだ教育委員会と学校の先生も含めてということになるのですけど、今、ギガスクール構想とかいろんなところで話が出ておりますので、平井先生という方をお呼びして、 学校の先生を対象に研修をすることにしております。こちらは学校現場の先生を対象にしたセミナーですので、ちょっとどういったご案内をさせていただこうか迷っているのですが、もし委員の方でもご都合つく方がいらっしゃれば参加は可能ですので、またその辺りも、次回の教育委員会の日程のことも含めてご連絡をさせていただければと思っております。 それから、今、順次というところになるんですが、１月の後半から、いわゆる電子黒板が各学校に入っております。で、今までのモニターとは全然違うような、大きさも違いますし、明るさとか鮮明度も全然違いますので、これが２月ぐらいから本格的に学校の方で、授業で利用されていくということになりますので、また、学校の授業を 見に行かれたりという際には、その電子黒板の方にもぜひ注目していただければと思います。

２月の後半までに順次ということになるので、入っている学校、入ってない学校があるのはございますので、またその辺り、詳細をお知りになりたいということであれば、ご連絡いただければご紹介させていただければと思っております。以上でございます。

今脇教育長　はい、それでは、今のところまでで何かございませんでしょうか。なければ、 その他のところでお願いします。

小中一貫教育課長　今お手元に配布させていただいた卒業式の出席者一覧、小中片上高校分をご覧いただけたらと思います。小学校につきましては、そこに示させていただいております通り、３月19日、中学校が３月14日、片上高等学校は３月３日が当日となっております。今、教育委員会から祝辞を読んでいただくために行っていただく方の名簿を作ってみております。ご予定に入れておいていただけたらと思います。ご都合がつかない場合は、なるべく早めにご連絡いただけるとありがたいです。また、祝辞を読む紙媒体につきましては、例年のように後日お届けするようにする予定を考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。お世話になります。

幼児教育課長　それでは、幼児教育課の方からは、卒園式についてお願いいたします。こども園の卒園式につきましては、市内全園において３月18日に予定しております。お配りしております名簿の通り、委員の皆様にもいずれかの園へご出席お願いしたいと考えております。なお、

例年通り、設置者、管理者としての出席のため、園からのご案内文、また、祝辞等はございませんので、よろしくお願いいたします。以上です。

今脇教育長　それではこちら案内文はないということなので、しっかりスケジュールに書き留めていただけたらと思います。それから、小中の卒業式の方は、これは礼服ではなく、略礼服ということで、こちらの方もスケジュールに入れておいていただけたらと思います。

よろしくお願いいたします。はい。その他何かございませんでしょうか。はい。それでは、以上で１月教育委員会会議定例会を閉会いたします。皆さん、お疲れ様でした。ありがとうございました。

備前市教育委員会会議規則第16条第2項の規定により、下記に署名する。

会議録署名委員　　教育長

委　員